

社会医学会レター

日本社会医学会 2017-1号 2017年8月1日発行
事務局 滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学部門 内
大津市瀬田月輪町 TEL/FAX : 077-548-2187/2189
E-mail: office@jssm.mail-box.ne.jp
ホームページ : http://jssm.umin.jp/

第58回 日本社会医学会総会 あいさつ

学会長：志渡 晃一（北海道医療大学大学院 看護福祉学研究所 教授）

第58回日本社会医学会総会を8月19日～20日に北海道で開催させていただきます。会場の北海道医療大学は道央札幌市に隣接する当別町に位置しています。JR札幌駅から40分程度でその名を冠したJR北海道医療大学駅に到着します。駅からはsky-walk?!を通過して、雨に濡れることなく大学構内に入ることができます。

本総会では、「生きがいのある人間らしい生き方」：ディーセントライフをメインテーマとし、企画運営委員を中心に、議論の基調となる講演、シンポジウム、市民公開事業、市民公開講演の準備作業を進めて参りました。ディーセントライフには「生きがいのある人間らしい生き方」という意味を込めました。基調講演「公衆衛生の復権」、特別講演「ディーセントワークと平和」、歓迎講演「北海道の健康課題」、「職場で心の健康をまもるために」などの各種講演をはじめ、シンポジウムとして北海道に焦点を当てて「ディーセントワークの推進」「北海道の農業と健康」「北海道のエネルギー問題と健康」「アスベスト関連問題」「北海道の葉害関連問題」について取り上げる予定です。あわせて「子供の貧困と格差」をキーワードにパネル展、上映会も企画しています。

会員の皆様に、それぞれのサブテーマに関連する演題発表をお願いしたところ、全体で50演題以上の申し込みがありました。それぞれのテーマごとに議論を深め合う企画に作り上げていきたいと考えています。

お盆明けの忙しい時期ですが、皆様のお越しを心よりお待ちしております。8月の北海道は残暑もなく、むしろ冷涼な時節です。演題発表を含め各種討論に積極的に関わっていただくことを切にお願いする次第です。情報交換会は札幌の座標軸の原点であるテレビ塔内で開催致します。大通り公園が一望でき、そこに沈む夕日、夕焼けと夜景を楽しむことができます。爽やかな気候の中で北国の幸とコクのある札幌ビールを堪能していただければ幸いです。重ねて会員の皆さまの積極的な参加をお待ち申し上げます。

日時：2017年8月19日（土）～20日（日）

場所：北海道医療大学 当別キャンパス
新千歳空港 — JR新千歳空港駅（快速エアポート
札幌方面行に乗り換え） — [約40分] → 札幌駅
（JR学園都市線 石狩当別方面行に乗り換え）
— [約45分] → 北海道医療大学駅

会場：中央講義棟
駅・スカイウェイを通り、まっすぐの方向
のキャンパスの一番奥にある学舎

メインテーマ：ディーセントライフ
—保健・医療・福祉の統合；公衆衛生の復権—

理事会：総会前日の18日（金）、17:00～19:00
札幌駅近くの「アスティ45」の12階

一日目（19日）

9:30～10:00 評議員会

10:00～11:00

開会の挨拶：黒澤隆夫（北海道医療大学副学長）

歓迎講演Ⅰ：北海道の健康課題

小林正伸（北海道医療大学）

11:00～12:00 基調講演

座長 西基（北海道医療大学）

「公衆衛生の復権」

三宅浩次（北海道公衆衛生学会）

12:00～12:30 大会長講演

「ディーセントライフ

—保健・医療・福祉の統合；公衆衛生の復権—

志渡晃一（北海道医療大学大学院）

12:30～13:00 総会

13:10～14:10 歓迎講演Ⅱ

座長 富家直明（北海道医療大学）

「職場で心の健康を守るために」

坂野雄二（北海道医療大学）

14:10～16:10

シンポジウムⅠ：北海道のエネルギー問題と健康

座長 松井利仁（北海道大学環境創生工学）

「低周波音による健康影響を無視して進められる
我が国の風力発電施設開発」

松井利仁（北海道大学環境創生工学）

「北海道で健康で豊かな生活をどう作るか？

～自然エネルギーとしての森林利用に関わって～」

山形定（北海道大学工学研究院）

「自然エネルギーによる北海道内電力自給の
可能性」

北裕幸（北海道大学情報科学研究科）

19:00～21:00 情報交換・交流会

会場「札幌テレビ塔」まで、送迎バスで移動

二日目 (20日)

10:00~12:00

シンポジウムⅡ：アスベスト関連問題

座長 伊藤俊弘 (旭川医科大学)

「我が国の石綿使用の経緯と労働者等の健康影響について」

伊藤俊弘 (旭川医科大学)

「アスベスト関連疾患発掘の取り組みと対策—特に石綿肺がんを中心に—」

細川誉至雄 (勤医協札幌病院)

「石綿による健康被害者救済の現状と石綿関連訴訟の到達点」

長野順一 (弁護士)

10:00~12:00

シンポジウムⅢ：北海道の薬害問題

座長 佐藤嗣道 (東京理科大学薬学部)

「HPV (子宮頸がん) ワクチン問題を考える」

佐藤嗣道 (東京理科大学薬学部)

関口正人 (HPV ワクチン薬害訴訟
東京弁護士会事務局長)

金澤佑華 (HPV ワクチン薬害
訴訟原告)

12:00~13:00

ランチョンセミナー：ディーセントワークと平和

座長 川村雅則 (北海学園大学)

福地保馬

(働く人びとのいのちと健康をまもる
全国センター理事長)

13:00~15:00

シンポジウムⅣ：ディーセントワークの推進

座長 川村雅則 (北海学園大学)

「ディーセントワークの観点からみた日本の労働者の現状と政府の働き方改革の批判的検証」

川村雅則 (北海学園大学)

「労働紛争の現場からみる

ディーセントワークへの課題」

島田度 (きたあかり法律事務所)

「産業医による面接指導を通して
感じる労働現場の実像」

佐藤修二 (札幌ワーカーズクリニック)

「『コープさっぽろ・ダイバーシティ3カ年目標』
実行計画」

中島則裕 (コープさっぽろ)

社会医学研究に投稿しましょう

査読つきの年2回刊行、バックナンバーは、インターネットで、全部読めます。原著、総説、研究報告、編集長へのレターなど、選んで投稿してください。

「社会医学研究」へ投稿された原稿の査読、改訂などの手続きを迅速化するために、原稿を電子ファイルとして以下のメール・アドレスへ送付ください。

編集委員長・櫻井尚子： nao_sakurai@jikei.ac.jp

電子ファイルを利用して投稿する場合、本文および表は必ず、「MS Word」または「一太郎」、ないしパワーポイントやエクセルを用いてください。

13:00~15:00

シンポジウムⅤ：北海道での農作業安全の取り組みを通じて、農民の安全衛生を考える

座長 埜田和史 (滋賀医科大学)

新野峰久 (北海道厚生連旭川厚生病院)

「北海道における農作業事故の特徴と事故予防のポイント」

大浦栄次 ((一財) 富山県農村医学研究所)

「北海道における農作業事故の現状と

『MMH 運動』の展開について」

舘山則義 (北海道農作業安全運動推進本部)

「生産現場での具体的な安全対策と普及」

小川小百合 (北海道釧路農業改良

普及センター釧路東支所)

「私の事故経験と事故対策」

箕浦邦雄 (幕別町 農家)

15:30~17:30

市民公開講座：戦争と科学

座長 大野義一朗 (東葛病院)

志渡晃一 (北海道医療大学)

「日本学術会議の軍事研究に関する新声明が
科学者に問いかける課題」

小森田秋夫 (神奈川大学)

指定発言 荒木肇 (日本平和学会)

山形定 (北海道大学工学研究院)

まとめ 高鳥毛敏雄 (社会医学会 理事長)

第58回 日本社会医学会総会事務局からのお知らせ

コンビニエンスストア営業に関して

従業員の手配がつかないため、学会当日のコンビニエンスストア営業はできなくなりました。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。

なお、会場近辺にコンビニエンスストア等はございませんので、札幌駅等でご準備の上、お越しくださいますようお願い申し上げます。

第58回日本社会医学会総会事務局

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

北海道医療大学 看護福祉学部 志渡研究室

TEL&FAX : 011-388-4728

E-mail : socmed58@gmail.com

事務局長：小林道

会費の納入をお願いします

会費は学会の活動にとって、なくてはならないものです。未納の方は、郵便振替 (00920-6-182953 日本社会医学会) の用紙で、会費納入をお願いします。2013年度分からの会費は一般会員7千円、学生(院生含む) 会員3千円です。

一日目 一般演題発表

会場・時	分類	演題名	発表者	所属
会場2 15:00 ～16:00	労働災害・救済	振動障害新規認定患者の実態—2013,2014,2015年度健交労働組合員のデータより	道端達也	玉島協同病院
	労働災害・救済	イタイタイ病研究と「神通川流域住民健康管理制度」創設の意義について	寺西秀豊	富山協立病院
	労働災害・救済	引き揚げ者救済活動で医療者が果たした役割—医療倫理と国家命令の狭間で医療者も被害者となった戦後処理—	中尾治子	福山平成大学
会場4 15:00 ～15:45	生きがい	生きがいが健康に影響するか	三宅克朋	石川勤医協城北病院
	生きがい	何がサードエイジの生きがい観と関連するか—生きがい対象別分析—	立瀬剛志	富山大学
	生きがい	住環境の変化により生きる希望をもてた患者への関わり	高田彩架	NPO法人 HEALTH SUPPORT HINATA
会場4 16:00 ～17:00	貧困関連	一人暮らしの経済的困窮高齢者の孤立リスクと予防について	志賀文哉	富山大学社会福祉学
	貧困関連	相談支援の現場から～貧困への介入実践～	伊規須朋子	千鳥橋病院
	貧困関連	支援者のいない孤独な妊産婦～妊産婦との関わりを通してみえる貧困問題	大曲美潮	千鳥橋病院
	貧困関連	貧困の住環境における熱中症の社会医学的リスク	藤井基博	東葛病院
会場3 16:00 ～17:00	若年者	医学部における栄養教育の現状	梅澤光政	獨協医科大学公衆衛生学講座
	若年者	就寝時におけるスマートフォン・携帯電話の使用と睡眠障害の関連	小林道	酪農学園大学農食環境学群
	若年者	保健医療福祉系学生における抑うつ傾向とその関連要因について—レジリエンスは抑うつ傾向の予防に有効か—	米田龍大	北海道医療大学大学院看護福祉学
	若年者	北海道内の高校生におけるひきこもり親和性と学校生活満足度の関連	米田政葉	北海道医療大学大学院
会場1 16:10 ～17:10	原発関連	福島原発事故での甲状腺ヨウ素被ばくにおける環境モニタリングと直接測定結果の検討	内山浩志	獨協医科大学国際協力支援センター国際環境衛生室
	原発関連	福島原発の小児被災者に橋本病(自己免疫性甲状腺炎)が多発—兵庫県6院所での、原発避難者及び転地療養者に対する甲状腺検査の取り組み報告—その1	松本理花	神戸医薬研究所
	原発関連	同上—その2「福島県民と関東地域被災者の比較」	郷地秀夫	東神戸診療所
	原発関連	福島県の小児甲状腺癌検査における過小診断・萎縮診療の検証	郷地秀夫	東神戸診療所

二日目 一般演題発表

会場・時	分類	演題名	発表者	所属
会場2 9:30 ～10:30	公衆衛生活動	イギリスのパブリックヘルス思想の形成過程の検討	高鳥毛敏雄	関西大学社会安全学部
	公衆衛生活動	深夜の繁華街におけるAdolescent & Young Adult(YAY)世代への公衆衛生活動	田中勤	南生協病院産婦人科
	公衆衛生活動	住民と専門職が共同で明らかにする地域の課題～CBPRの実践	記村聡子	四條畷学園大学在宅看護学
	公衆衛生活動	世界に逆行して増設急ぐ我が国における石炭火力発電所の問題点と環境・健康影響を防ぐ課題	広瀬俊雄	仙台錦町診療所産業医学センター
会場4 9:30 ～10:30	介護	家族介護者データを基礎とした介護負担感測定尺度の再検査法による信頼性の検討	出井涼介	地域ケア経営マネジメント研究所
	介護	認知症者を介護するケアラーの社会参加に関する研究 ～ICFによる支援モデル～	午頭潤子	白梅学園大学
	介護	「認知症サポーター」の活用促進に関する実証研究	宮本恭子	島根大学法文学部
	介護	日本で取扱いのあるスタンディングマシンの特性と普及・定着に向けた課題	富田川智志	京都女子大学生生活福祉学科

二日目 一般演題発表(つづき)

会場・時	分類	演題名	発表者	所属
会場2 10:30 ～11:15	高齢者	明るい長寿社会づくり推進機構の事業に参画する高齢者の三年間生存維持特性	星旦二	首都大学東京
	高齢者	『中年福祉』概念の意義と可能性—くひきこもり>の高齢化から見た次代の課題—	檜垣昌也	聖徳大学短期大学部
	高齢者	台湾高齢者福祉現状について—「長期介護十ヵ年計画2.0」	歐陽蓓	台湾台北海洋技術大学
会場4 10:30 ～11:30	福祉労働	北海道内の4交替勤務に従事する介護労働者における日常生活のゆとりに関する検討	田村優実	勤医協労働組合
	福祉労働	医療福祉職における燃え尽き症候群と関連要因	上原尚紘	北星病院
	福祉労働	精神科長期入院患者の退院支援に関する精神保健福祉士への意識調査	徳永達哉	健心会桑園病院
	福祉労働	日本の介護現場におけるフィリピン人介護職員の普遍的な業務に関する研究	ケリ・イメルダ	ケアハウス アゼリーアネックス
会場5 11:00 ～12:00	労働衛生・ 就労問題	女性雇用者の社会的ストレスと職場ストレス要因およびQOL; 正規雇用と非正規雇用の比較	田中健吾	大阪経済大学経営学部
		ストレスチェックデータの分析における階層構造考慮の必要性: 多店舗型サービス業企業のデータを用いた検討	高原龍二	大阪経済大学経営学部
		通院治療中の働く世代のがん患者における休職とQOLの関係	小玉かおり	旭川医大大学院
		発達障害を持つ方へのインタビューを通して見えた当事者が抱く就労課題—発達障害者支援の動向を踏まえて—	平野啓介	札幌医学技術福祉歯科専門学校
会場2 13:00 ～14:00	薬害問題①	HBV感染の被害構造—病態悪化・就労困難・生活困窮—	岡多枝子	人間環境大学社会福祉学
	薬害問題①	C型肝炎感染被害者が直面するカルテ等の投薬証明を得る上での困難の実態	榎宏朗	臨床・社会薬学研究所
	薬害問題①	HPVワクチンのリスク: 市販後早期に指摘・警告した米国3文書(2006～2008年)と国際誌総説論文(2011年)について	片平洸彦	臨床・社会薬学研究所
	薬害問題①	筋肉注射による薬害 筋拘縮症の被害について	小田美也子	薬害筋短縮症の会
会場4 13:00 ～14:00	健康問題	名古屋におけるホームレスの健康状態と、それに影響を与える要因に関する検討	西尾彰泰	岐阜大学保健管理センター
	健康問題	在留外国人永住者が抱える健康課題と保健師の取り組み	波川京子	川崎医療福祉大学保健看護学科
	健康問題	手話通訳者における健康問題の現状と課題 ～第6回全国調査の結果をふまえて～	北原照代	滋賀医科大学衛生学
	健康問題	抑うつメンタルヘルスリテラシーが受診行動のプロセスに与える影響	児玉壮志	北海道医療大学リハビリテーション科学部
会場2 14:00 ～15:00	薬害問題②	北海道における日本脳炎の定期接種化と予防接種被害と救済の問題点	荻原敏子	
	薬害問題②	予防接種健康被害救済の課題-審査請求により逆転認定された事例をサポートした経験から—	栗原敦	MMR被害児を救援する会
	薬害問題②	サリドマイド胎芽病者の二次障害予防 —労働衛生学的観点と人間工学的対策—	辻村裕次	滋賀医科大学衛生学
	薬害問題②	サリドマイド胎芽病者の二次障害予防 —上肢機能障害に対する介入事例—	白星伸一	佛教大学保健医療技術学部
会場4 14:00 ～15:00	医療関連	ピロリ菌の除菌治療の推進は高齢化の進んだ診療圏においても胃癌の予防に有効であった	大野順弘	利根保健生協利根中央病院病理診断科
	医療関連	知的障害のある人の医療アクセシビリティのための合理的配慮	於保真理	神奈川工科大学
	医療関連	大阪常設夜間休日HIV検査場におけるHIVと梅毒感染症の動向	毛受矩子	四天王寺大学